ひく かずを ふやすと

10までの ひきざん（ひく かずを かえる）

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

・しきの こたえを ぜんぶ いれよう。
・おなじ かずから ひいていくよ。ひく かずが ふえると こたえは どうなるかな。
・さいごに、ふえる・へる の どちらかに ○を つけよう。

れい

9 − 2 = 7



9こから 2こ ひくと 7こ のこる

① 8 から ひく

8 − 1 = ☐

8 − 2 = ☐

8 − 3 = ☐

8 − 4 = ☐

② 10 から ひく

10 − 2 = ☐

10 − 3 = ☐

10 − 4 = ☐

10 − 5 = ☐

③ 7 から ひく

7 − 2 = ☐

7 − 3 = ☐

7 − 4 = ☐

7 − 5 = ☐

④ 9 から ひく

9 − 3 = ☐

9 − 4 = ☐

9 − 5 = ☐

9 − 6 = ☐

ひく かずが 1 ふえると、こたえは

どちらかに ○を つけよう

ふえる　　へる

うえと したを くらべよう

10までの ひきざん（しきを くらべる）

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

・うえの しきと したの しきを くらべよう。
・こたえが ふえる・へる・おなじ の どれかに ○を つけよう。
・そのあとで、したの こたえを いれよう。

れい

$3 - 1 = 2$

くらべて　ふえる　(へる)　おなじ

ひく かずが 1 ふえたから
こたえは へる

$3 - 2 = 1$

① $6 - 1 = 5$

くらべて　ふえる　へる　おなじ

$6 - 2 =$ □

② $4 - 2 = 2$

くらべて　ふえる　へる　おなじ

$5 - 2 =$ □

③ $5 - 3 = 2$

くらべて　ふえる　へる　おなじ

$6 - 4 =$ □

④ $8 - 6 = 2$

くらべて　ふえる　へる　おなじ

$8 - 5 =$ □

⑤ $5 - 1 = 4$

くらべて　ふえる　へる　おなじ

$4 - 1 =$ □

⑥ $9 - 7 = 2$

くらべて　ふえる　へる　おなじ

$10 - 8 =$ □

⑦ $9 - 1 = 8$

くらべて　ふえる　へる　おなじ

$9 - 2 =$ □

⑧ $10 - 7 = 3$

くらべて　ふえる　へる　おなじ

$10 - 6 =$ □

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「10までのひきざん」のプリント一覧がひらきます

おなじ こたえの しきは どれ

10までの ひきざん（しきを えらぶ）

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

・ひだりの しきと こたえが おなじに なる しきを えらぼう。
・みぎの 3つの なかから 1つ えらんで ○で かこもう。

れい

8 − 3 → 9 − 3　(9 − 4)　7 − 3

① 5 − 3 → 5 − 2　4 − 3　4 − 2

② 4 − 1 → 5 − 2　5 − 1　4 − 2

③ 8 − 5 → 8 − 4　7 − 4　7 − 5

④ 5 − 1 → 6 − 2　5 − 2　6 − 1

⑤ 10 − 6 → 10 − 5　9 − 6　9 − 5

⑥ 6 − 1 → 7 − 1　7 − 2　6 − 2

⑦ 7 − 1 → 8 − 1　7 − 2　8 − 2

⑧ 9 − 2 → 9 − 1　8 − 1　8 − 2

ひく かずを ふやすと【こたえ】

10までの ひきざん（ひく かずを かえる）

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

おうちの方へ

同じ数から ひくとき、ひく数が 1 ふえると、答えは 1 へります。
ひく数が 大きいほど、のこりは 少なくなる、という きまりです。

答えが きまりと 合わないときは、おはじきや ブロックを ならべて、
1つずつ とりながら いっしょに 数えなおしましょう。

最後の ○は「へる」に ついていれば まるです。
答えが 1 ずつ へっていることを、指で なぞって たしかめると 気づきやすくなります。

① 8 から ひく

8 − 1 =	7
8 − 2 =	6
8 − 3 =	5
8 − 4 =	4

② 10 から ひく

10 − 2 =	8
10 − 3 =	7
10 − 4 =	6
10 − 5 =	5

③ 7 から ひく

7 − 2 =	5
7 − 3 =	4
7 − 4 =	3
7 − 5 =	2

④ 9 から ひく

9 − 3 =	6
9 − 4 =	5
9 − 5 =	4
9 − 6 =	3

ひく かずが 1 ふえると、こたえは

どちらかに ○を つけよう

ふえる （へる）

うえと したを くらべよう【こたえ】

10までの ひきざん（しきを くらべる）

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

おうちの方へ

上の式と 下の式を くらべて、下の こたえが ふえる・へる・おなじ を えらびます。
ひく数が ふえると へり、ひかれる数が ふえると ふえます。

ひかれる数も ひく数も 同じだけ ふえると、こたえは 同じです。
まよったら 先に 下の式を 数えて、上の こたえと くらべてもかまいません。

○は 3つの ことばの どれかを かこんでいれば まるです。
答えを 書いたあとで ○を えらんでも、きまりに 気づけていれば かまいません。

① 6 − 1 = 5

くらべて　ふえる　(へる)　おなじ

6 − 2 = 4

② 4 − 2 = 2

くらべて　(ふえる)　へる　おなじ

5 − 2 = 3

③ 5 − 3 = 2

くらべて　ふえる　へる　(おなじ)

6 − 4 = 2

④ 8 − 6 = 2

くらべて　(ふえる)　へる　おなじ

8 − 5 = 3

⑤ 5 − 1 = 4

くらべて　ふえる　(へる)　おなじ

4 − 1 = 3

⑥ 9 − 7 = 2

くらべて　ふえる　へる　(おなじ)

10 − 8 = 2

⑦ 9 − 1 = 8

くらべて　ふえる　(へる)　おなじ

9 − 2 = 7

⑧ 10 − 7 = 3

くらべて　(ふえる)　へる　おなじ

10 − 6 = 4

おなじ こたえの しきは どれ【こたえ】

10までの ひきざん（しきを えらぶ）

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

おうちの方へ

左の式と 答えが 同じになるのは、ひかれる数も ひく数も 同じだけ ふやした式 または へらした式です。（例: 8−6＝2 と 9−7＝2、10−8＝2）

どちらか 一方だけ ふやした（へらした）式は、答えが ちがいます。（例: 8−6 に対して 7−6 や 8−7）答え面の 各問に ちがう 理由を 一言 のせました。

計算して 答えを たしかめても かまいません。○は 式を かこんでいれば まるです。

① 5 − 3 → 5 − 2　4 − 3　**4 − 2**

ちがう：5−2＝3（ひく かずが へった）　4−3＝1（ひかれる かずが へった）

② 4 − 1 → **5 − 2**　5 − 1　4 − 2

ちがう：5−1＝4（ひかれる かずだけ ふえた）　4−2＝2（ひく かずだけ ふえた）

③ 8 − 5 → 8 − 4　**7 − 4**　7 − 5

ちがう：8−4＝4（ひく かずが へった）　7−5＝2（ひかれる かずが へった）

④ 5 − 1 → **6 − 2**　5 − 2　6 − 1

ちがう：5−2＝3（ひく かずだけ ふえた）　6−1＝5（ひかれる かずだけ ふえた）

⑤ 10 − 6 → 10 − 5　9 − 6　**9 − 5**

ちがう：10−5＝5（ひく かずが へった）　9−6＝3（ひかれる かずが へった）

⑥ 6 − 1 → 7 − 1　**7 − 2**　6 − 2

ちがう：7−1＝6（ひかれる かずだけ ふえた）　6−2＝4（ひく かずだけ ふえた）

⑦ 7 − 1 → 8 − 1　7 − 2　**8 − 2**

ちがう：8−1＝7（ひかれる かずだけ ふえた）　7−2＝5（ひく かずだけ ふえた）

⑧ 9 − 2 → 9 − 1　**8 − 1**　8 − 2

ちがう：9−1＝8（ひく かずが へった）　8−2＝6（ひかれる かずが へった）